

スポーツ業界の最新景況レポート

スポーツ業界の景況感、『良い』は 2 割にとどまる

～ 今後はオリンピックの開催や健康志向の高まりによる改善に期待 ～

スポーツ業界では、2023 年 5 月の新型コロナ 5 類移行により、それまで中止となっていたスポーツイベントが再開され、学校現場やレジャーにおけるスポーツ活動もコロナ前の状況に戻りつつある。今年の夏にはパリオリンピックの開催を控えるほか、健康志向の高まりによるフィットネス市場の復調が期待される。

しかし、少子高齢化やスポーツ以外の余暇活動の多様化による潜在顧客層の減少、生産拠点の海外シフト、海外製品の流入増加による競合激化などが長年の課題となっている。

帝国データバンクでは、スポーツ業界を取り巻く現在の景況感を分析した。

■スポーツ業界の景況感回復には、参加を促す活動や価格転嫁がカギに

2024 年 3 月の TDB 景気動向調査によると、「スポーツ業界¹」では、現在の景況感を『良い²』と回答した企業の割合（20.0%）が、『悪い³』と回答した企業の割合（43.3%）を大きく下回った。

『良い』と回答した企業の割合は、コロナ前の 2019 年 3 月（18.2%）から上昇しているものの、コロナ禍での延期を経て開催された東京オリンピック前の 21 年 3 月（26.2%）、行動制限の解除や WBC で日本代表が優勝した 23 年 3 月（28.9%）と比べると低下した。

図 1 「スポーツ業界」における各年 3 月の景況感(割合)

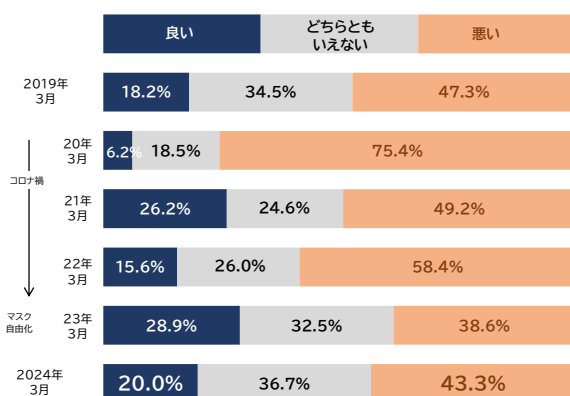
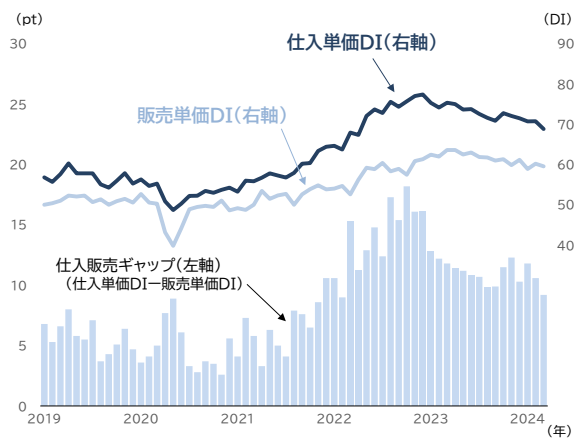


図 2 「スポーツ業界」の仕入・販売単価 DI の推移



1 スポーツ業界の景況感は、TDB 景気動向調査において「事務用・作業用・衛生用・スポーツ用衣服製造業(ニット製を除く)」「スポーツ用品卸売」「スポーツ用品小売」「ゴルフ場」「テニス場」「フィットネスクラブ」などの業種を対象に算出している

2 2024 年 3 月の TDB 景気動向調査で、現在の景況について「非常に良い」「良い」「やや良い」と回答した企業の割合

3 2024 年 3 月の TDB 景気動向調査で、現在の景況について「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合

「スポーツ業界」の仕入単価DI⁴と販売単価DIをみると、両データの差（仕入販売ギャップ）が2022年以前との比較で約10ポイント高くなっており、価格転嫁が進んでいないことが分かる（前ページ図2）。景況感が『悪い』と回答した企業からは、「輸入品が多く、円安のため商品価格が高騰。暖冬で冬物衣料の販売が停滞している」（スポーツ用品小売）、「ゴルフの練習に来る人が昨年をピークに落ち着いてきている」（ゴルフ練習場）などの声があがった。「3密」を避けられるレジャーとして人気を集めたゴルフ市場の一服感や、円安による原材料や輸入品の価格高騰、在庫の滞留などが景況感にブレーキをかけている様子がうかがえる。

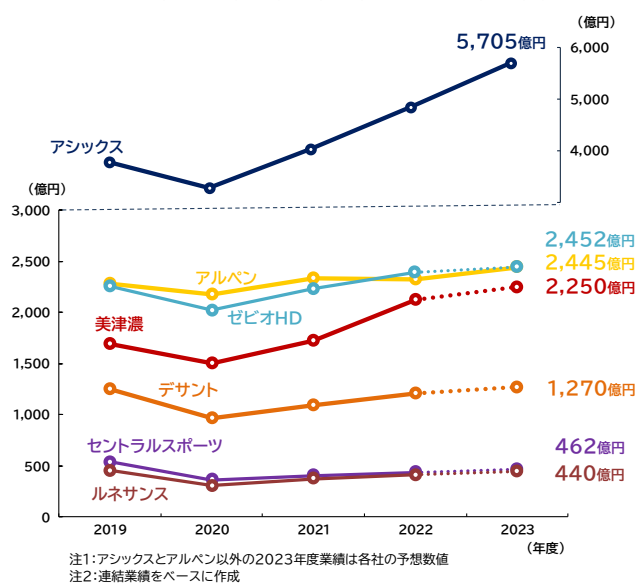
スポーツ用品大手のアシックスが2023年度の売上高で過去最高を記録するなど、グローバル展開するスポーツ用品メーカーの業績好調が目立つ一方で、スポーツ需要回復の波が業界全体には浸透していないという分析結果となった。レジャーが多様化するなかで、企業にはスポーツの魅力や効果を訴求し、参加を促す取り組みや価格転嫁による適正利益の確保のほか、いかに独自性が際立つ商品・サービスを提供できるかが問われる。

■スポーツ関連の主要企業の業績推移（2019年度～2023年度）

スポーツ関連（スポーツ用品製造業、卸・小売業、フィットネスクラブ）の主な上場企業7社の業績をみると、2022年度は6社が増収となり、2023年度は全社が増収または増収予想としている。

背景には、新型コロナが感染症法上「5類」へ移行した2023年5月以降、各地でのさまざまなスポーツイベントの再開やスポーツメーカーの海外市場での伸長、国内需要の回復がある。また、健康志向の高まりによるランニングウェア・シューズの人気に加えて、スポーツウェアを普段着に取り入れたファッションスタイルの定着といった「スポーツアパレル」市場の好調も業績を押し上げたようだ。

スポーツ関連企業の業績推移(主な上場企業7社)



本調査は景気動向オンライン(<https://www.tdb-di.com>)およびTDB REPORT ONLINE(<https://www.tdb-publish.com>)に掲載
※ <TDB REPORT ONLINE> 各種企業の膨大な情報をもとに、業界の動向や注目ビジネスを網羅した経営情報サイト

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】武原 護、長崎 あき子 03-5919-9343（直通）

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

4 仕入(販売)単価DIは、50を上回ると仕入(販売)単価が前年同月よりも上昇、下回ると低下していることを表す

©TEIKOKU DATABANK, LTD.